

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.9
217

お礼 「気づき」にありがとう

その

先月、本社敷地の町道近くで、輸送中に“油”のようなものがこぼれているのを発見していただき、そしてイナテックの社員の方々が早く処置していただいたお陰で事前によく止めることができました。ありがとうございました。

そこでその第一発見者の方はイナテックが常々お世話になっていますが、久米商店さんでした。本当にありがとうございました。久米商店さんの「気づき」のレベルの高さは、やはり社員教育を熱心に常々行ってみえるからです。イナテックも勉強させていただ

きました。

その

イナテック本社の北ゲート側のエアコンのドレン配管から一台だけ水漏れがあり、それに気づいたツールワンの人がイナテック保全の人に連絡をしたら、その場所だけが工事の埋め戻しの都合で地盤沈下してしまいドレン配管が破損したようです。

最初は室外機の水漏れくらいと思っていましたが、その室外機だけだったので気づいたようでした。そんな気づきもツールワンの中で共有化し、ツールワンのお客様会社でも同様の「気づき」を提供しようとしていました。ありがとうございました。

見せる化 見える化へ

掲示板 活動板へ

TPMの山田先生からいつもご指導いただいていることですが、イナテックはまだまだ見える化になっていないし、本来活動板であるはずが掲示板になっています。

この原因(要因)の一つにコンピューター

からのプリントアウト化があると私は思っております。

以前は原紙はPCで作成し、記入は手書きでした。それが何故か毎月数値をコンピューターに入力して、それをプリントアウトするわけです。

まさしく綺麗です。これは本当に見える化でしょうか？毎日のデータが、月毎にまとめられて綺麗に貼り返される。そこにドラマもプロセスも見えないのです。

また、原紙のみでしたら1枚/年で済むものを毎月プリントアウトすることで12枚/年も紙を使用しドラマもプロセスも見えなくなるのです。

これで本当に「見える化」でしょうか？

東日本大震災での復旧活動でトヨタ自動車の好田(こうた)室長様が実施されたのはまさしく「見える化」のようです。

現地のエレクトロメーカーさんはさすがIT化が進んでいて全てPC管理で模造紙というものは文字も紙も存在していません。それ何ですか？から始まったようです。

好田室長は模造紙(B紙)を取り寄せ全て“手書”で最初から最後までそこ一ヶ所で追

記され、スケジュールの改訂や変更、実施済みか否かをポストイットや色ペンなど駆使し、復旧されました。まさしく『見える化』だと言つて見えました。その結果、想像以上の早さでの復旧活動をされました。

まさに「見える化」「見える化」です。イナテックの掲示板ももつそろそろ『活動板』『見える化』にしようではありませんか。

イナテックメイン通路が日本一に！

本社の製造現場のメイン通路が一流になりました。トヨタ様やAW様が採用されているのと同じ塗装です。

1000万円投資いたしました。そして見えてきたのは、ヨゴレが見える「ようじになりました。今が“チャンス”です。

「機械場からの油の足跡」「リフトのタイヤの跡」「タイヤの旋回の跡」など一日でドロドロになることがわかりました。

さあ！皆で考えましょう。1000万円使つてヨゴレ『見える化』ができたわけです。私は

諦めません。メイン通路は毎日磨き続けます。イナテック社員の皆さんの「マインド」が曇つてしまつ前に磨き続けます。

その間に皆さんに考え実行して欲しいんです。つまり皆で知恵を出し行動し、メイン通路も磨き、機械も磨き、安全靴も磨き、夕

ーミナルも磨き、リフトのタイヤも磨きながら何故汚れるのかを考えてください。必ず綺麗になります。

皆で工夫して改善しましょう。改善しかやれません。宜しく願ひいたします。諦めません。頑張ります。